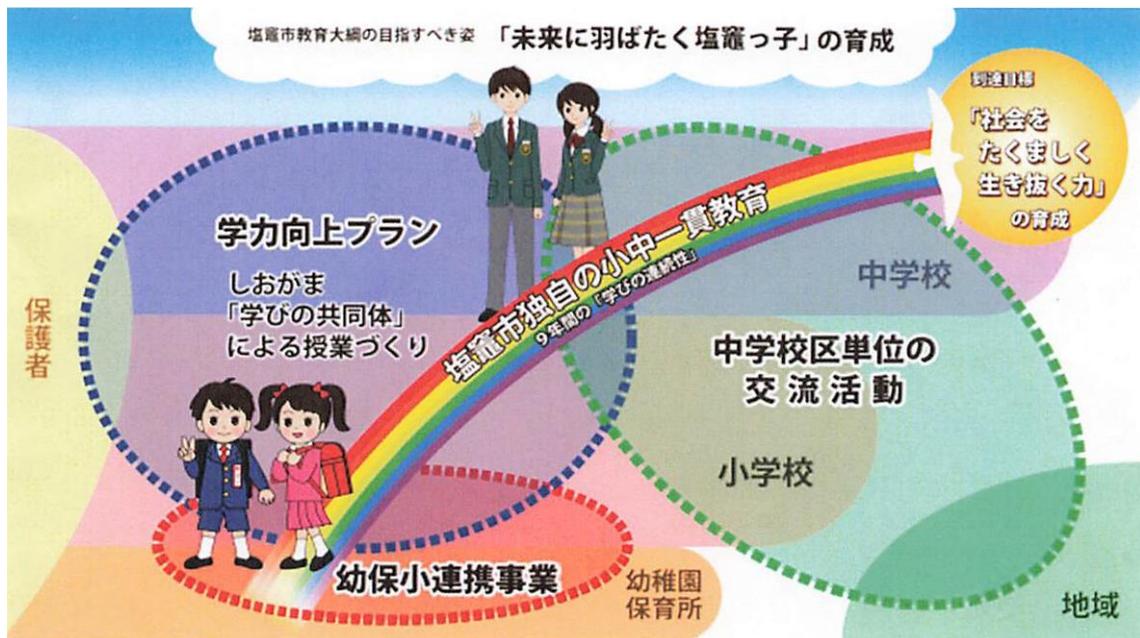


令和2年度における教育分野の  
主な取組について

(1)本市の学力向上・学習支援の取組について

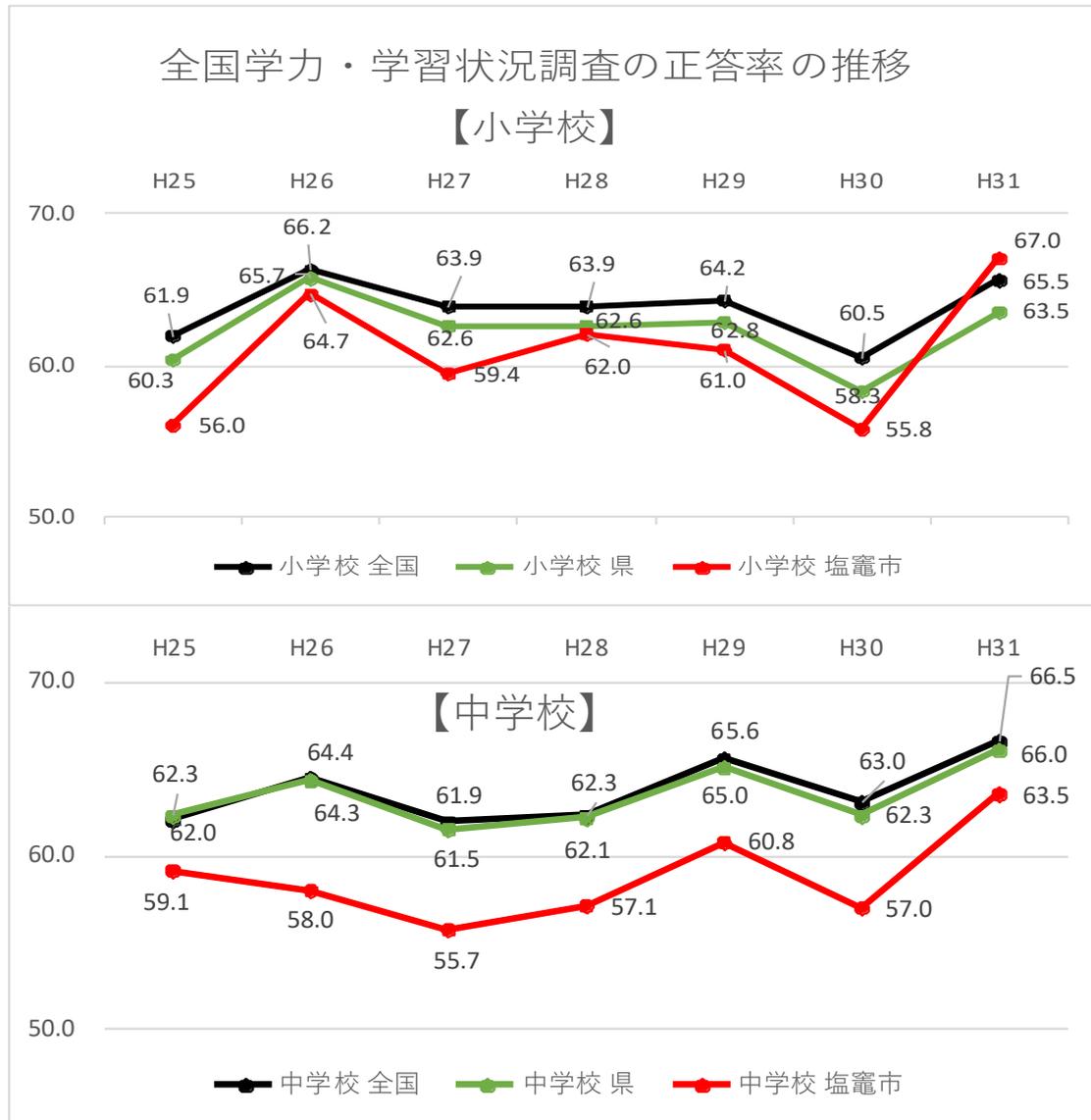
令和2年7月31日  
教育部学校教育課

## 本市の学力向上・学習支援の取組



学校教育課

## 1 本市の学力向上対策



### (1) 全国学力・学習状況調査の正答率の推移

小学校では、国語と算数の2教科ともに、全国平均、県平均を上回ることができた。中学校では、国語と数学の2教科において、それぞれ、全国平均との差を縮めることができた。

〈平成31年度の結果〉

小学校 全国平均との差 +0.4～+3.2 ポイント (0.1～0.5 間差)  
 県平均との差 +2.0～+5.0 ポイント

中学校 全国平均との差 -3.8～-1.8 ポイント (0.2～0.7 間差)  
 県平均との差 -3.0～-2.0 ポイント

## (2) 塩竈市学力向上プラン

# 本市の学力向上対策



### ① 3つの視点による授業改善

どの子にも「分かる・できる」喜びを味わえる授業づくりを行う

- ・主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）の視点
- ・ユニバーサルデザインの視点
- ・交流（児童生徒間交流・教師間交流）の視点

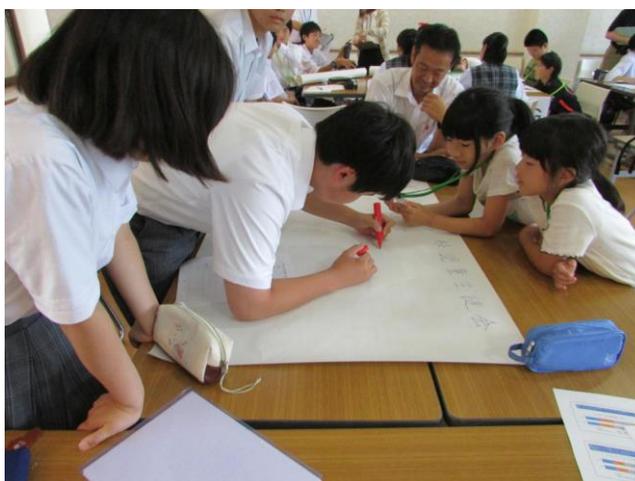
### ② 家庭における学習習慣づくり

学校・家庭・地域が一体となった「学びの環境づくり」を推進する

- ・メディア・スマホ依存対策

#### 〈アルカス塩竈〉

小中学生が「メディア・スマホ対策」について話し合い



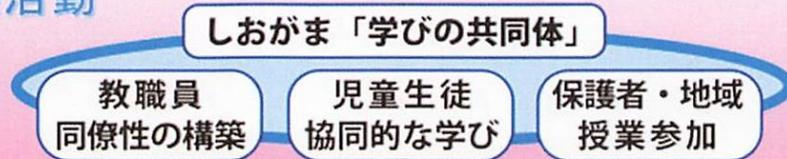
### (3) 令和2年度 しががま「学びの共同体」による授業づくり

## 学力向上プラン

授業づくり「活躍する場」や「交流する場」を設定し、すべての児童生徒が「できる・分かる」喜びを味わえる授業を目指す。



## しががま「学びの共同体」 による授業活動



「主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）」を実現するため、旧来型の「一斉授業」から「協同的学びの授業」へ転換を図り、児童生徒も教師も保護者も、互いに学び合う場所にする「学びの共同体」として組織。

「SDGs」持続可能な開発目標

「誰一人取り残さない社会の実現」を目指し、2015年 国連で採択

「質の高い教育をみんなに」（17の目標 目標4：教育）

→学び合いを通じた質の高い教育の実現「みんなを支えるみんなの学び」

(Learning for All, All for Learning)

#### ①令和2年度の目標

- ・各校に「モデルとなる教員」を育成する
- ・各校に「学びの共同体の活動システム」を定着させる

#### ②令和2年度具体的取組

〈組織〉

- ・各校に「しががま『学びの共同体』推進委員会」を設置  
\*塩竈市教育委員会に事務局を置く

〈人材育成〉

- ・「しががま『学びの共同体』推進委員」の推薦 \*各校2名（浦戸1名）  
→転入職員のためのモデル授業（外部講師を招いての授業研究会）  
\*各校で実施

〈授業研究会〉

- ・1年を通じた授業研究会を計画・実施
- ・パイロットスクールにおける授業研究会
  - ①他校からの参加者は、各校3名以内とする。
  - ②今年度の本市転入職員の参加を優先とする。
  - ③標記研究会の17回全てについて、他校からの参加を可能とする。
  - ④全職員が、1回は他校の研修会に参加できるように計画する。

令和2年度 しおがま「学びの共同体」による授業づくり（授業研究会）講師招聘計画

### 1 パイロットスクールの授業研究会

学校名	実施日	講師
第一小学校	9月 9日 (水)	森田 智幸 様
	10月 2日 (金)	
	2月 4日 (木)	
第三小学校	10月20日 (火)	金田 裕子 様
	11月 5日 (木)	
	1月27日 (水)	
第三中学校	9月28日 (月)	金田 裕子 様
	10月 7日 (水)	
	1月26日 (火)	

### 2 各小・中学校の授業研究会

学校名	実施日	講師	授業研究会
玉川中学校	10月14日 (水)	佐藤 雅彰 様	中学校区
浦戸小中学校	10月15日 (木)	佐藤 雅彰 様	中学校区
第一中学校	10月16日 (金)	佐藤 雅彰 様	中学校区
月見ヶ丘小学校	10月28日 (水)	根本 光子 様	校内
玉川小学校	10月29日 (木)	根本 光子 様	校内
第二小学校	11月 2日 (月)	塚本 桂子 様	校内
杉の入小学校	11月17日 (火)	坂本 篤史 様	校内
第二中学校	11月24日 (火)	坂本 篤史 様	中学校区

※パイロットスクールを除く小・中学校に、外部講師を年に1回招いて授業研究会を行う。

### 3 中学校区授業研究会

中学校区	実施日	講師	実施校
第一中学校区	10月16日 (金)	佐藤 雅彰 様	第一中
第二中学校区	11月24日 (火)	坂本 篤史 様	第二中
第三中学校区	10月20日 (火)	金田 裕子 様	第三小
玉川中学校区	10月14日 (水)	佐藤 雅彰 様	玉川中
浦戸中学校区	10月15日 (木)	佐藤 雅彰 様	浦戸小中

#### 4 小中一貫教育全体研修会

研修会名	実施日	講師	会場
小中一貫教育 全体研修会	8月19日(水) 午後	佐藤 雅彰 様	壱番館遊ホール

#### 5 外部講師

佐藤 雅彰 様 富士学びの工房  
塚本 桂子 様 牛久市立おくの義務教育学校 教頭  
坂本 篤史 様 福島大学大学院 人間発達文化研究科 准教授  
(新) 根本 光子 様 茨城・学びの会 代表  
森田 智幸 様 山形大学大学院 教育実践研究科 准教授  
金田 裕子 様 宮城教育大学 教職大学院 准教授



#### (4) 学力向上マネジメント支援事業（県委託事業）

##### ① 趣旨

本県の課題である学力向上に取り組むに当たり、困難を抱えている地方の拠点都市に対して、宮城県教育委員会と当該拠点都市の教育委員会が連携し、継続的・重点的に学力向上対策を推進する。

- ・当該拠点都市の教育委員会が設置する小・中学校のモデル校における PDCA サイクルに基づく 3 年間の授業改善等の実践を通して、学力向上のための PDCA サイクルのモデルを確立する。
- ・本事業で得られた成果を基に、学力向上マネジメントみやぎ方式を構築し、県内市町村への水平展開を図り、本県の公立小中学校における学力の全体的な底上げを推進する。

##### ② 実施期間

平成 31 年度から令和 3 年度までの 3 年間

##### ③ 事業の内容

###### (ア) 支援事業地区の指定

○地方拠点都市の 4 市教育委員会を支援事業地区に指定（塩竈・白石・大崎・石巻）＊今年度、新たに気仙沼を指定

###### (イ) 支援事業地区において行う事業

- ・「学力向上対策基本方針」を作成する。
- ・事業内容は、4 つの必須項目及び市の実態、要請に応じて実施する。
- ・対象教科は、小学校では算数、中学校では数学。
- ・実践の成果と課題の検証に当たっては、経年比較が可能な定量的なデータを示せるように努める。翌年度の「学力向上対策基本方針」及び「事業計画書」の見直しを図る。
- ・支援事業地区は、「市学力向上推進委員会」（年 3 回程度）を設置し、  
以 下の取組を行う。  
＊中学校区モデル校の取組状況等についての報告及び情報共有  
＊学力向上対策のより効果的・効率的な実施に向けての協議 等

##### ④ 本市の取組内容

###### (ア) モデル校（本市は、全ての小中学校）

- 第一中学校区（第一中 第一小 第二小）
- 第二中学校区（第二中 杉の入小）
- 第三中学校区（第三中 第三小）
- 玉川中学校区（玉川中 玉川小 月見ヶ丘小）
- 浦戸中学校区（浦戸中 浦戸小）

(イ) 事業の内容

〈必須項目〉

**ア 標準学力調査年2回（今年度は6月と1月に実施）**

- ・標準学力調査（算数・数学）〔東京書籍〕＊全児童生徒対象

**イ 全国学力・学習状況調査結果分析を踏まえた授業改善**

- ・自校の課題を明確にし、それらを解決するための授業改善を、校内研修等を通して全職員で取り組むとともに、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。

＊本市独自の日程で取り組むことにしている、今年度の全国学力・学習状況調査の結果と、標準学力調査1回目の結果を踏まえた授業改善に取り組む。

**ウ カリキュラムマネジメントの工夫**

- ・2月までに教科書の内容を終える年間指導計画を立て、3月は苦手分野克服期に充てる教育課程の編成の工夫を行う。

＊令和2年度は、年度内に教科書の内容を終える年間指導計画に修正し、教育課程の編成の工夫を行う。

**エ 小中連携の取組**

- ・9年間を見通した教育内容の検討や授業の約束、生活の約束を共有する。

・教育事務所指導主事や総合教育センター指導主事を活用し、校種を超えた授業研究会を実施したり、全国学力・学習状況調査の課題を共有したりするなど、小中連携の取組を充実させる。

〈選択項目〉

**オ 市町村の実態、要請に応じて実施する取組（選択制）**

本市独自の小中一貫教育及びしおがま「学びの共同体」による授業づくりのとの関連から次の3点を選択する。

**・授業力向上研修会の実施**

＊大学教員等、外部講師を活用し、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりに関する全体研修会及び各小中学校での授業研究会を実施する。

**・授業づくりのための先進地域への研修視察**

**・学級集団診断テスト〔Q-U調査〕**

## (5) 令和2年度全国学力・学習状況調査対策

### ①本市独自の日程での令和2年度全国学力・学習状況調査の実施

- ・新型コロナウイルス感染症予防のため、当初予定していた日程での全国学力・学習状況調査は中止。
- ・しかし、今求められている児童生徒に身に付けさせたい力が定着しているかどうかを評価し、フィードバックするには最適な学習の機会であるため、また、昨年度、過去間に3度取り組んできた児童生徒の力試しの機会を提供するため、本市独自の日程で実施。

### ②年間計画に基づいた対策

- ・令和元年度の問題を使用し、2学期に2回、3学期に1回、試験を実施する。
  - \*同一問題に取り組ませながら、試験の形式や問題に慣れさせ、その都度、丁寧な解説・補充学習を行うことによって、自信をつけさせる。
  - \*3月に全てが既習となった時点で、再度テストに取り組ませる。
    - 小5・中2までの「学習内容の総括（全体での振り返り）」に活用する。

### ③学力向上ヒアリング

- ・各学校を巡回し、①②の取組状況等を確認する。
  - ほとんどの児童生徒は、1回目よりも、2回目の試験の結果が向上した。自信が持てず、テストをあきらめている児童・生徒への意欲づけ、意識づけにつながった。

## (6) 成果検証

### ①授業満足度（令和元年度12月調査）

- 小学校 90.2%（平成30年度 90.0%）
- 中学生 78.8%（平成30年度 83.3%）

### ②学級生活満足度（Q-U調査）

- 「学級満足度」全国値を上回った学級（令和元年度3学期）
- 小学校 78学級／82学級 95%（平成30年度3学期 98%）
- 中学校 36学級／41学級 88%（平成30年度3学期 93%）

### ③不登校出現率（令和元年度）

- 小学校 0.43%（平成30年度 0.33%）
- 中学校 2.40%（平成30年度 3.86%）
- ・中学1年生の不登校生徒数：前年度比 22.2%減少

### ④全国学力・学習状況調査平均正答率（平成31年度）

- 小学校（国語・算数） 全国平均との差 +0.4～+3.2ポイント
- 中学校（国語・数学） 全国平均との差 -3.0～-2.0ポイント

## 2 本市の学習支援対策

### (1) しおがまチャレンジ教室

#### ①概要

東日本大震災による被災の程度が大きく、また経済的に生活が苦しい家庭の中学生が自主的に学習できる場を提供するため、「しおがまチャレンジ教室」を実施。

#### ②ねらい(効果)

学習環境の改善を図り、復習を中心とした自主学習を支援することで、一人ひとりの学びのスタイルを確立。

#### ③実施概要(令和2年度)

- 実施場所 本塩釜教室(塩竈市海岸通10番18号小松ビル2階)  
けやき教室(塩竈市公民館本町分室)
- 実施期間 令和2年6月8日から令和3年3月31日まで
  - ・けやき教室 毎週火曜日・木曜日
  - ・本塩釜駅前教室 毎週月曜日・水曜日※年間40週程度  
※新型コロナウイルス感染症予防対策として、3密を避けるために、各教室の人数をAとBの二つに分け、それぞれ週1回の開催に変更して実施。
- 実施時間 午後6時から午後7時30分  
(時期によって変更の可能性あり)
- 登録生徒 本塩釜駅前教室22名(定員25名)  
けやき教室 13名(定員15名)
- 対象生徒 被災就学援助受給世帯、要保護世帯または準要保護世帯に該当する中学生の希望者

#### 【参考】令和元年度

- ・被災就学援助児童生徒51名
- ・要保護児童生徒9名
- ・準要保護児童生徒282名
- 計342名

- 支援体制 各教室に2名の指導員を配置
- 支援内容 ①自主学習を基本に、指導員が復習を中心として一人一人に合わせた勉強の仕方を教える。  
②教科書を使用して学習を進めていくが、必要に応じて、問題集(無料配布)や課題学習プリントを使用する。

#### ④これまでの経過

年度	実施概要	登録生徒数（人）		
		けやき	本塩釜	東塩釜
H27	東大寺からの寄付金を活用し、震災で住居を失い仮設住宅等に入居する中学生を対象に、けやき教室で実施	7	未開設	未開設
H28	東大寺のほか、株式会社佐浦からの寄付金を加え、さらに対象を被災就学援助世帯や要保護・準要保護世帯に拡大するとともに、教室も市内3か所に増設	21	30	12
H29	東大寺からの寄付金を活用し、引き続き3教室で実施	16	25	12
H30	東大寺からの寄付金を活用しながら、東塩釜コラソンの閉所に伴い2教室で実施	18	32	
R1	ふるさとしおがま復興基金を活用し、引き続き2教室で実施。新型コロナウイルス感染症予防のため、各教室週2回から1回の開催	15	22	

#### ⑤進路状況（令和元年度）

しおがまチャレンジ教室に参加した中学3年生15名の進路状況

- ・塩釜高等学校（3名）
- ・利府高等学校（2名）
- ・多賀城高等学校（1名）
- ・鹿島台商業高等学校（1名）
- ・ヒューマンキャンパス高等学校（1名）
- ・仙台育英学園高等学校（3名）
- ・東北高等学校（2名）
- ・宮城野高等学校（1名）
- ・東北学院高等学校（1名）

#### ⑥事業の課題

開設した当初の1学期は参加率が平均約56.7%と高いが、2学期になると平均約37.0%に下がった。3学期は、3年生が受験期になり、平均約40.8%とやや回復した。



〔臨時休業後の学校再開の様子〕



【三小 水飲み場】



【三小 給食の準備】



【月見小 授業中】



【月見小 机配置】



【三中 水飲み場】



【三中 英語動物の足跡】



【三中 音楽室机配置】



【三中 理科室シールド】



【二小 検温スペース】



【玉小 教室入口】



【玉小 教室入口】



【玉小 教室入口】



【玉小 授業】



【二中 廊下表示】



【二中 授業】



【杉の入小 教室】



【杉の入小 下駄箱】



【杉の入小 昇降口】



【玉川中 授業】



【玉川中 水飲み場】



【玉川中 廊下掲示】



【玉川中 鞆置き場】



【玉川中 下駄箱】



【玉川中 壁掲示】



【浦戸小中 昇降口】



【浦戸小中 廊下】



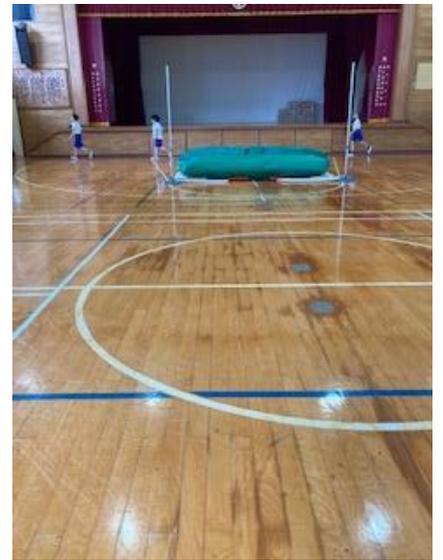
【浦戸小中 図工】



【浦戸小中 社会】



【浦戸小中 体育】



【浦戸小中 体育】



【玉川中 数学】



【浦戸小中 社会】



【浦戸小中 英語】



【一中 水飲み場廊下】



【一中 授業】



【一中 授業】



【一中 授業】



【一中 授業】



【一中 授業】



【一中 授業】



【一中 授業】